



西脇ロータリークラブ 2680 地区 2024-2025 週報



No.29 第2851回 令和7年3月24日

今週の歌:手に手つないで

プログラム 「認知症の方への対応」
西脇市長寿福祉課 笹倉真由美氏

会長 園田 純也 幹事 蘆田 裕三
例会日 月曜日 12:30-13:30
例会場 西脇ロイヤルホテル 2F
Tel: 0795(23)2000
事務局 西脇商工会議所内
〒677-0015 西脇市西脇 990
Tel: 0795(22)3901 Fax: 0795(22)8739

園田会長のテーマ

「夢の力 Power of Dreams」 ～ポジティブな発想でアクティブに行動！ Being Positive leads to Active～

3月17日(月) 第2850回例会記録

◎お客様

2680 地区ガバナー 矢坂誠徳様(神戸西RC)

◎出席・・・会員数 43 名 出席 38 名 MU 3 名
(出席免除会員 5 名・休会 1 名)

米山奨学金・記念品の贈呈

米山記念奨学生
龍 心美さん



カウンセラーへ感謝状

矢坂誠徳ガバナーより、高瀬幸一郎会員に感謝状贈呈



会長の時間

園田純也会長



皆さん こんにちは。本日は矢坂ガバナーに例会に出席していただいております。大変お忙しい中、誠にありがとうございます。今回の訪問は、先程矢坂ガバナーから報告がありましたが、今月の地区大会でのプログラムの印刷に誤りがありました。その件については、地区や印刷会社からも謝罪の連絡を頂いており十分でしたが、高瀬PGから矢坂ガバナー自らが例会訪問してお詫びをしたとの思いであられるとお聞きしました。そのお気持ちは十分に受け止めさせて頂きましたので、ガバナーがわざわざ例会訪問して頂かなくても「大丈夫です」と申し上げたのですが、矢坂ガバナーのお人柄で、「そんな訳にはいきません。クラブの皆様にも真摯にお詫び致すのが筋と考えます」との強い意思で本日のご訪問となりました。矢坂ガバナーご丁寧ありがとうございます。

さて、その地区大会1日目のプログラムの中に、地区指導者育成セミナーがありまして、私と蘆田幹事が参加させていただいたことは既に報告済みですが、セミナーの中で「Heartwarming Rotary の意味するところ」についての講和が矢坂ガバナーからありました。その中から2つのお話をお伝えしたいと思います。1つ目は、講和の中で「蛇鮒蝸翼」(だふちょうよく)のお話がありました。蛇鮒は、蛇の腹の下の鱗のことで、蝸翼はセミの羽のことで。蛇はお腹の下にある鱗のおかげで動くことができ、鱗は蛇のおかげで動くことができます。セミは羽のおかげで飛ぶことが出来、羽はセミのおかげで羽ばたくことが出来ることから、お互いがお互いを頼りにする関係にあることだそうで、正しくその通りであります。

それからもう一つは、ロータリーの標語「最もよく奉仕する者 最も多く報いられる」からのお話でロウソクの話がされました。ロウソクは、自分を燃やしながら周りを照らし、小さいながらも人に明かりと幸せをもたらしてくれます。自らの炎を他に分けても炎は減りません。身を燃やし減らしながら他の人の役に立つという自己犠牲の精神。光り輝くダイヤモンドは自ら輝くことができません。ロウソクの光がないと光り輝くことができないのです。正にその通りです。他にも沢山講和頂きましたが、特にこのお話を皆様にお伝えして会長の時間とさせていただきます。

幹事報告

(来 信)

- 地区事務所より、
 - ・2024-25 年度ロータリー財団地区補助金報告書承認通知
 - ・ローターアクト指導者育成セミナーのご案内
4月12日(土) 13:30~ 於:加古川 CCI
 - ・「令和7年大船渡市大規模山林火災」災害支援金ご協力をお願い
 - ・米山記念奨学会より、ハイライトよねやま
- 富良野RCより、会報

委員会報告

○親睦活動委員会 数原泰三委員長

6月1日(日)西脇カントリークラブで園田会長杯のゴルフ大会を開催します。今回も女子プロゴルファーとのラウンドを予定しております。各テーブルに申込書をお配りしておりますので、多数のご参加をお願いします。

ニコニコ箱

矢坂誠徳ガバナー(神戸西RC)

地区大会小冊子に不備がございまして西脇RC様には大変ご迷惑をおかけしました。心よりお詫び申し上げます。

- 和田会員 ちょっといい事がありました。
- 高瀬(幸)会員 米山カウンセラーを無事終えました。会員の皆様、心美ちゃんが1年間お世話になりました。
- 園田会員 矢坂ガバナー、本日はようこそお越し下さいました。
- 井上会員 先日は父の他界に際しまして、会からお心遣いいただき、ありがとうございます。
- 蘆田会員 先日、吉田会員にお世話になり、ありがとうございます。
- 後藤(直)会員 早退をお詫びして。

岡井会員 早退をお詫びして。

※本日のニコニコ 30,000 円
大船渡市大規模山林火災支援金 42,000 円
※本年度累計額 (3/17 現在) 1,539,053 円

🌸 本日の花: カネシヨン・かすみ草

プログラム

○足立達明会員

健康でなければこれから後20年弱?の人生の歩みは決して楽しいものではないと思います。そこで無理なく長く続ける健康方法が無いか探した結果、町の健康課が主催している「多可の森健康ウォーキング」がありました。週二回、時間は約2時間程度でゆるやかなコースからハードなコースまで20コース程あります。一年半前より参加するようになって通算75回程歩いています。係りつけのドクターからも糖尿病の数値が改善していると嬉しい言葉を戴きました。ウォーキングは個人レベルでも充分可能ですが、歩くコースも街中の毎回同じで飽きがきます。それに比べ多可の森健康ウォーキングはコースも沢山あり、負荷の係る登りもあるコースまで様々です。それに一番良いところは山の中を歩くコースがあるのが魅力です。また参加者の多くが同世代で、一人でも気兼ねなく参加出来ます。

足は第2の心臓です!足を鍛えましょう!

詳しくは

ホームページ <https://wellness.takacho.net/>

詳しく記載されています。

○藤井雅浩会員

建築物省エネ法と建築基準法が改正されます。いわゆる「脱炭素大改正」が25年4月から施行になります。住宅の省エネ基準適合義務化や4号特例の見直しなど、建築界の大改革がいよいよスタートします。2030年度の温室効果ガス46%削減(2013年度比)の実現が目標に掲げられています。それらを踏まえて、政府は2021年10月、地球温暖化対策等の削減目標を強化しました。現状は、戸建て住宅など小規模な木造2階建て建築物は、省エネについては適合義務の対象外であるため審査は不要であり、構造については、都市計画区域では、建築士が設計・監理を行った一定規模以下の建物について、構造関係規定などの一部審査(いわゆる4号特例と呼ばれる審査省略制度)を省略していましたが、今後は、確認申請や検査の際に省エネや構造の審査が必須となります。

このように大改正によって設計実務はがらりと変



わり、そのため、国交省は設計者や施工者、審査者などへの周知と説明に力を注いできました。既存建物の大型リフォーム計画も、確認申請が必要になる場合がありますが、屋根の葺き替えや、外壁の改修等 修繕・模様替えのみであれば、改正建築物省エネ法の対象外なので、省エネ計算や断熱改修などは求められません。関係者の脳裏をよぎるのは、2007年（18年前）のいわゆる「建基法不況」です。2005年の構造計算書偽造事件（耐震偽装問題）がきっかけとなり、2007年6月に改正建基法が施行、建築確認手続きを大幅に厳格化されました。

その結果、確認検査機関が審査に要する時間が激増。建築確認が滞り、2007年8月の着工戸数が前年同期比で43.3%も落ち込む事態を招きました。それに加え、資材の価格高騰（生コン 鋼材等 あらゆる建材）かつ人件費の高騰による、建築費用の莫大な増加で、現在の建設費用の相場は、坪単価で住宅新築 160万～180万円、オフィスビル 200万～220万が多数となっており、15年前の約2倍の水準です。

また職人の数も激減してきており、建設業就業者数は、1997年（28年前）（685万人）をピークとして減少が続いており、2023年はピーク時比70.5%の483万人。約200万人減少です。大阪関西万博パビリオン建設の大幅な工期遅れで、開催日までには到底間に合わないのではないかと思います。アスベスト除去の問題も深刻化してきています。中皮腫の原因は、主にアスベスト（石綿）の吸入（曝露）です。潜伏期間は20年から40年とされています。大気汚染防止法による、石綿作業主任者・石綿含有建材調査者等の資格者配置、届出報告義務の徹底が行われ、解体工事における各種規制の厳格化、現地抜き打ち検査も行われています。

○赤井浩起会員

本日は、先日出席した地区の行動計画委員会のセミナーについてお話をさせていただきます。

セミナーの中で私が重要だと理解したことは、クラブに行動計画委員会を設置し、従来の単年度での方針・活動から3年程度で達成可能な目標計画を立てクラブ運営を継続的に取り組むことで、会員維持増強し、組織を活性化させて行こうということです。キーワードは、「継続」「革新」「パートナーシップ」です。会員維持増強やクラブの活性化



には、会長、理事が変わっても継続していく体制をつくっていくことが重要だということでした。RIが大きく変革している状況で、各クラブも従来のロータリーの良さを残しつつ、新たな考えを取り入れ、組織を変えていく必要がある。会員それぞれロータリーで大切に思っていること、良いと思っていることは違うかもしれないが、クラブとして向かっている方向、重点項目を理解し協力して取り組んで行くことが必要だと理解しました。

2020-21年度（高瀬ガバナ一年度）からできた地区戦略計画委員会が今年度からは行動計画委員会に移行し、当クラブでも2021-22年度から戦略計画委員会が、今年度からは行動計画委員会ができ、計画が立てられています。あまりそれを意識されていない方が多いと思いますが、今後は、行動計画を考え意識し、会員同士の意見交換の中で、クラブの独自性、特徴を活かした新たな柱を立て、会員皆でその目標に向かって行ければと思います。

最後に2020-21年度月信9号に掲載された当時戦略計画委員会委員長だった矢野PGの一文を抜粋して紹介します。（今回のセミナー資料にもなっていました）

クラブの持続可能性

クラブが運動体である以上、常に様々な問題に直面します。そういう中でクラブが明確な方向性（ベクトル）を持つことによって、クラブはしっかりと持続していきます。そのために必要なのがクラブのビジョンと戦略計画です。RIが「多様性、柔軟性、革新性」をキーワードに大きく変化しようとしている時代にあって、クラブが明確なビジョンと戦略計画をもたなければ、その独自性を維持することができず、変化に主体的に対応できずに、いたずらにRIの変化を憂うだけになってしまいます。

また、クラブもその規模も様々であり、よって立つ地域の特性も違います。何も全てのクラブが金太郎飴のごとく均一である必要もありません。例えば青少年奉仕に特に力を入れるクラブもあれば、奉仕の理念をしっかりと学び会員の研修に力を入れるクラブ、地域のために奉仕プロジェクトに積極的に取り組むクラブなど、個性あるクラブもまた魅力の一つです。クラブの現状分析の元、クラブの弱みを克服することに注力するもよし、あるいはクラブの強みをより生かすことによってクラブの魅力をさらに強くするもよし、まさにクラブの戦略次第であります。

今後のプログラム

3月31日(月) 休 会 (定款により)

4月14日(月) 担当：米山記念奨学会委員会

4月28日(月) 休 会 (定款により)

4月 7日(月) 担当：国際奉仕委員会

4月21日(月) 担当：ロータリー財団委員会

5月 5日(月) 休 会 (こどもの日)